



2023メーデー 四年ぶりにパレードが復活!!

4月29日(土)、「2023 神障教組・浜高教メーデー」が開催されました。参加者は、浜高教66名、神障教組22名でした。

コロナ感染対策に大きな節目を迎えるにあたり、本年度のメーデーは、通常に近い形態で開催することができました。14時30分、市従会館ホールにおいて、集会は開会しました。まず、浜高教・木立委員長による開会挨拶があり、その後、各分会により工夫を凝らした分会アピールが行われました。歌あり、寸劇あり、クイズあり、パフォーマンスありの楽しいひとときの後、集会宣言が読み上げられ、神障教組・村田委員長による閉会挨拶を最後に集会は終了しました。その後、4年ぶりのパレードが実施されました。パレードの実施にあたっては、市民のみなさんに不安感を与えることがないように、原則マスク着用の上シユプレヒコールを行い、チラシやポケットティッシュの配布を行うことは自粛しました。16時、桜木町駅前を出発し、関内方面に向かい、途中いせぎきモールを通過して、地下鉄伊勢佐木長者町駅付近で17時に解散となりました。強風吹き荒ぶ中での行進でしたが、実に4年ぶりに仲間と声高らかに要求を訴え、すがすがしい気持ちでパレードを行うことができました。

みなで集まり、お互いの顔を見て話す。みんなで声を上げ、訴える。そういうことの大切さを、改めて感じた方も多かったのではないのでしょうか。組合活動も平常を取り戻しつつあります。気持ち新たに、みなで、組合活動を盛り上げていきましょう。

(井上大司)



戸定分会



東分会



みなと総分会



盲分会+特別支援



横総分会



Y校分会



Y別分会



ろう分会



Y S F H分会



金沢分会



桜丘分会



戸全分会



神障教組

2023 メーデー集会宣言

昨年12月、岸田内閣は安保3文書の改定を行いました。この決定により、敵基地攻撃能力の保有、防衛予算を本年度から5年間で総額43兆円計上し2027年度にはGDP比2%とする方針が示されました。このことは、悲惨な戦争体験に基づき、私たちが大切に受け継いできた憲法9条に示される平和主義の精神を根底から覆す暴挙です。戦争、軍事大国化へ向かうこの決定に、私たちは断固反対します。ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル開発、中国の南シナ海侵出・台湾併合などを利用して国民の不安をあおり、正当化しようという意図を感じますが、この決定には周辺諸国との関係を不安定化する危険があります。武力対武力という構造には、最終的に戦争が起こる危険が想定されます。戦争を起こさない外交により国際的な平和秩序を構築することこそが、今、本当に必要なことではないでしょうか。また、この件のみならず、安部元首相国葬問題、統一教会問題、マイナンバーカード問題、原発再稼働問題などにみられる政府の強権的な手法は、看過すべからざる問題です。国民との対話、共通理解形成を軽視し、一方的に事を運ぼうとする姿勢を許すわけにはいきません。民主主義を守るため、断固抗議します。

ロシアのウクライナ侵攻に起因する物価高騰は世界的な傾向です。しかし、OECDで唯一賃金が上がらない日本において、その影響は特に深刻です。私たちの家計は逼迫しています。物価上昇率

を上回る賃上げを、何としても勝ち取らねばなりません。金融緩和策による円安誘導は、物価高騰への影響も指摘されるとともに、一部の企業に巨額の収益をもたらしています。また、ばらまきによる物価高騰対策が、低所得者層よりも富裕層に恩恵をもたらすという指摘もあります。格差拡大に歯止めをかけなければなりません。

3年を過ぎ、未だ収束にいたらないコロナ禍が子どもたちに与えた被害は甚大です。不登校生徒が増加しました。学校での交友関係の希薄化が影響しているとの指摘があります。自殺者が増加しました。関係は不明確ですが憂慮すべき問題です。コロナにより傷ついた子どもたちに対し、心のケアが必要です

これ以外にも私たちの前には問題が山積しています。教員免許更新制にかわる新しい研修制度問題、教育に穴が開く問題、GIGAスクール構想・教育DX問題、部活動改革・地域移行問題、一年単位の変形労働時間制問題、高校初任者中学強制異動問題、管理職のハラスメント問題など、枚挙にいとまがありません。

特別支援学校ではこの10年間で児童・生徒数がほぼ倍増しています。しかし、在籍者増にともなう学校・教室整備・教員配置が十分できていません。学校は慢性的に満杯状態で、ほとんどの学校で特別教室を普通教室に転用し、音楽室や体育館やグラウンドが使えず、多くの特別支援学校では廊下や玄関で授業を行っています。今年4月に特別

支援学校設置基準が全面施行され、神奈川でも新しく2校が開校する見通しとなりました。しかし、この設置基準は新校のみに適用され、「既存校には当面適用しない」とされているため、非人間的なギュウギュウ詰め状態は放置されています。

市教委に対し誠意ある対応を強く求めます。上からの押し付けではなく対話を重視する姿勢を求めます。

教員の長時間過労労働は解決しなければならない問題です。そのためには給特法により生じる定額働かせ放題といわれる悲惨な状況を早急に改善しなければなりません。全国の仲間と協力し、給特法の問題に取り組みます。教職はブラックが常識となり、教員志願者は減少の一途をたどっています。教員不足問題とともに、根本的な問題である労働条件改善なしでは解決しません。教員定数増加、少人数学級実現、業務削減の必要性を強く訴えます。

私たち浜高教、神障教組は、コロナ禍に負けず、本日、独自メーデーに結集しました。要求実現のため、そして、平和主義を保持し民主主義を擁護するため、一致団結し、前進していくことを宣言します。

2023年4月29日

横浜市立高等学校教職員組合・
神奈川県立障害児学校教職員組合

あらたな戦前にさせない! 守ろう平和といのちとくらし

2023 憲法大集会

今年も5月3日(水・休日)に有明防災公園(東京臨海広域防災公園)にて「憲法を守る」とする集会が開催されました。12時半のオープニングの前からかなり多くの人が会場となる防災公園に集まってきていました。浜高教は、オブザーバー加盟している全教の青色シートに合流して参加しました。同じシートには、先日29日にメーデーを共に開催した神障教組のメンバーも一緒でした。

今年の大きな話題は、昨年の「徹子の部屋」でタモリさんが出演中に話した「新たな戦前」です。昨年12月に岸田首相は安保3文書の改定を行い、さらに敵基地攻撃能力の保有、防衛予算を本年度から5年間で総額43兆円計上し2027年度にはGDP比2%

とする方針などを示しました。これは、第二次世界大戦での悲惨な体験に基づき憲法9条に謳っている平和主義を根底から崩す事態になりかねません。リレートークでは、馬毛島の軍事基地問題の発言がありました。種子島の向かいの小さな島、馬毛島に米軍施設や自衛隊施設が作られているそうです。今、私たちの知らないうちに南西諸島に軍備増強が行われているのです。

ドキッとさせられました。「軍備を持てば、それを使いたくなるだろう」、そんなことが起こってはいけないし、決して許してはいけません。「新たな戦前にさせない」、その気持ちを強くした集会でした。(大山澄子)

第二十六回「定通父母の会」全国交流会

三月十八日(土)・十九日(日)の二日間、横浜市技能文化会館において、「第二十六回『定通父母の会』全国交流会」が開催され宮城県、長野県、埼玉県、神奈川県、横浜市、愛知県、京都府、大阪府から父母、教員等十五名が参加しました。

問題、特に横浜翠嵐高校定時制に通う多くの外国人生徒の行き場の問題があり、反対運動が起きています。神奈川県で行われる高校改革はいずれその他の自治体でも行われるとあって、注目を集めました。

その後も参加の各府県から定時制通信制高校の現状が報告されました。ほとんどの夜間定時制高校が定員割れのようにですが、愛知県だけは定時制があふれているとのことでした。年に一度の集まりですが、十年以上の知った仲間なので、話は終始盛り上がりっぱなしです。(木立敏樹)



(木立敏樹)